

**PRODUCT DESIGN
GRADUATION WORKS
DAIDO UNIVERSITY**

2017

PRODUCT DESIGN GRADUATION WORKS DAIDO UNIVERSITY

2017

YOKOYAMA Labo

荒木祐二	02
佐藤英輝		
寺坂光弘	04
平手貴有貴		
前田脩汰		
西村日南	06
日々野晟正	08

YOKOI Labo

今井晋之介	10
小鹿順平		
加藤和也	12
山田明弘		
佐藤雅也	14
陸浦和樹		

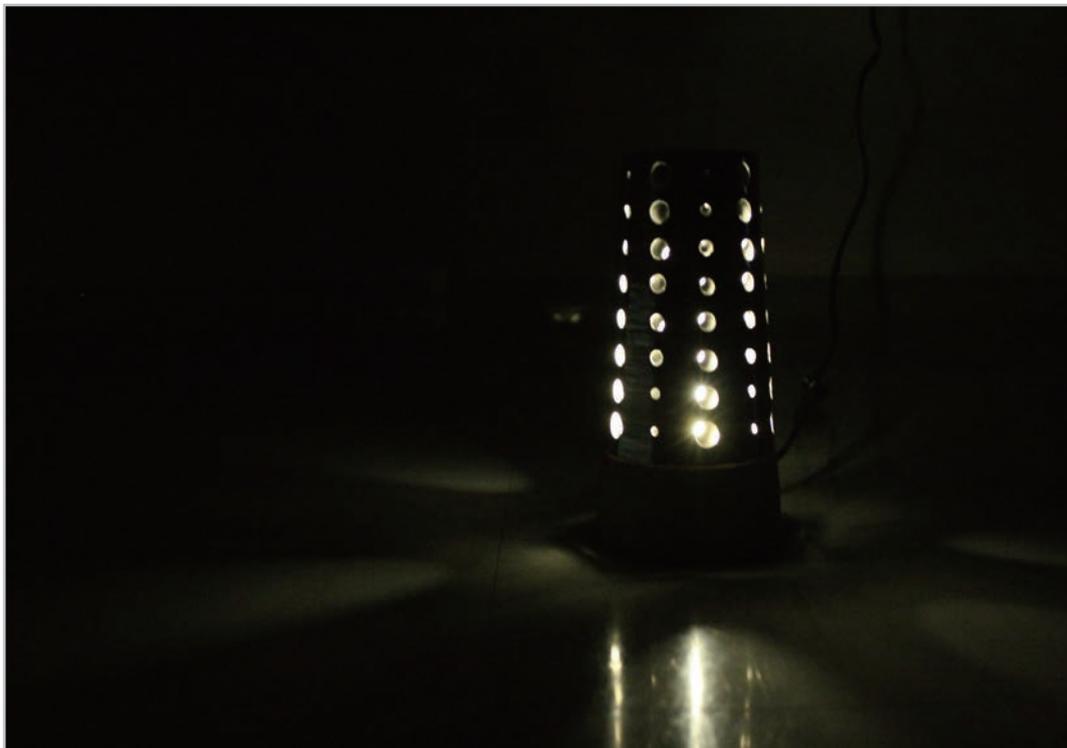
IFUJI Labo

伊藤義人	16
伊藤玲央	18
鹿島謙太		
佐野美彩子	20
竹入稜恭	22
馬淵拓麻		
西尾修朔	24

OKADA Labo

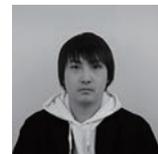
加藤光太郎	26
生根一真	28
成島堯希	30
真木一誠	32
松永啓	34
山中嘉太郎	36
森島大貴	38





へら絞りの技術を用いた照明器具

照明器具にはその目的に応じ様々な種類のものがある。本研究は、金属板を回転させながら押し当て、少しずつ変形させて成型する「へら絞り」の技術を活用した照明器具の提案である。二重構造のため、光と影を変えることができ、部屋の雰囲気も変えることができる。



荒木 裕二
Araki Yuji





協力: 杉乃家

伏見稲荷の茶屋土産プロジェクト

千本鳥居に代表される京都伏見稲荷は、国内で最も外国人観光客が訪れる観光地である。稲荷山全体が社であり、一周すると約2時間を要する。頂上付近にあることから観光客の足が遠のいてしまうという茶屋から商品開発の依頼を受け、土産物を制作した。「狐蠟燭」「付箋」「しおり」「紙扇子」「紙狐」を作成し、商品として売りだすことが決定した。



寺坂光弘 平手 貴有記
Terasaka Mitsuhiro Hirate Takayuki
前田 脩汰 佐藤 英輝
Maeda Syuta Sato Hideki





協力：(株)立風製陶

日本伝統文様を広める陶器アクセサリー

古来より世界各地に伝わる「文様」はその土地の文化や時代、流行から生み出されてきた。日本にも多数の伝統文様の種類があるが、それらを多くの若者に認識してもらうため、アクセサリーと組み合わせた研究である。植物文様、動物文様、自然文様、幾何学文様をモチーフにして展開し、新しい陶器アクセサリーを提案した。



西村 日南
Nisimura Hina





協力：(株)立風製陶

内装タイルのデザイン研究

近年の日本では、様々な原因によりタイルの売上が低迷している。そこで、今まで以上に多くの人々がタイルに興味、関心を持つことを目的とし、「内装タイルのデザイン」と「タイルの新しい用途の提案」をおこなった。展開として、インテリアで使用される「ランタン形状タイル」と「楕円形状 タイル」を作成した。



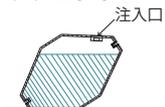
日比野 晟正
Hihino Kosei

Slope Water





(1) 注水時



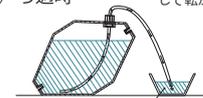
・注入口が上になるようにした状態で注水する。

(2) 運搬時



・平面をタイヤのようにして転がして運搬する。

(3) ろ過時



ろ過後の衛生的な水

発展途上国における生活用水確保のための機具システムの研究

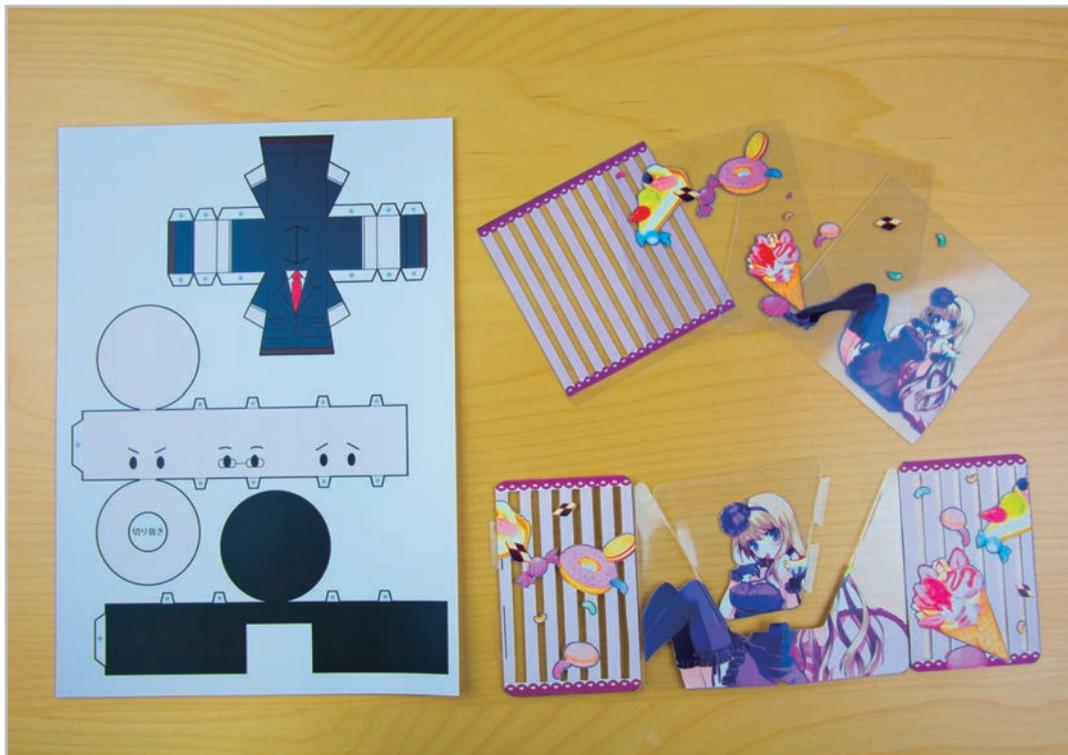
生活用水確保のための機具システムのデザイン研究を行った。運搬から水汲みろ過に至るまでの作業プロセスを検討結果としてまとめたシステムは、運搬では、紡錘形状をした回転体となったタンクを転がすこととした。二つの注入口の一つに加圧ポンプを取り付け、もう一方にろ過パーツを取り付ける。加圧ポンプで加圧し、水がろ過フィルターを通過ろ過される。



今井 晋之介 小鹿 順平
Sinnosuke Imai Junpei Ojika

地域限定、同人向けノベルティグッズ





印刷技術を活用したノベルティグッズの提案

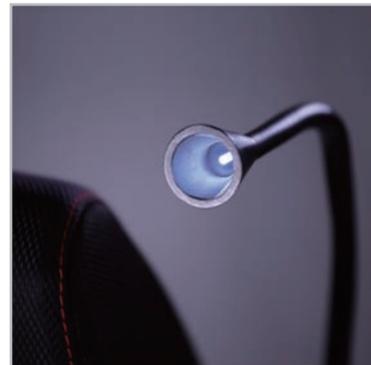
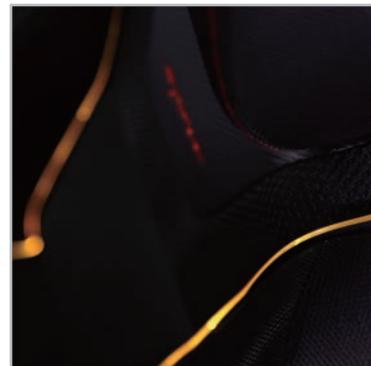
印刷技術を使ったノベルティグッズの研究を行い、デザイン提案をまとめた。その四種とは、複数枚のカードを組み合わせて一つの絵になるクリアカードジオラマ、キャラクターを切り抜き組み立てるオリジナルペーパーフィギュア、ブラックライトで光る缶バッジ、そしてスマートフォンスタンドである。



山田 明弘 加藤 和也
Akihiro Yamada Kazuya Katou

車内イルミネーションシステム





協力：沢田工業

カーインテリアを個性的に、楽しく、高級に演出するグッズ類の提案

「カーインテリアを個性的に、楽しく、高級に演出する用品の提案」と題し、カーインテリアの価値を大きく高める用品のデザインを研究した。最終デザインとして、ステッチ部分が光るシート、読書灯、そしてマットを光ファイバーによって光らせる用品のデザイン提案をまとめた。



陸浦 和樹 Mutuura Kazuki
佐藤 雅也 Sato Masaya

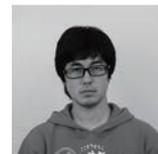


shack
sack



キャンプ用ザックとテントを一体化したアウトドア用品の開発研究

テントとザックを一体化させたキャンピング用ザックの提案である。エントリーユーザーを対象としており、今までキャンプに興味はあったが乗り出せなかった人が手軽にテント泊を楽しめるようになっている。ショルダーベルトとザックを分離させ、ザックのサイズを変えることで長期キャンプにも対応できる。



伊藤 義人
Ito Yoshinori

DAIDO TRANSPORTER





自動運転化による宅配車両のデザイン開発

自動運転化された宅配事業車両の内装と外装のデザインの可能性を研究した。内装をウォークスルー化し、運転中も車内を移動できる構造を採用した。さらに未来的なイメージを与える外装デザインを追求した。今後、自動運転化される車両のデザインの可能性を広げる提案である。

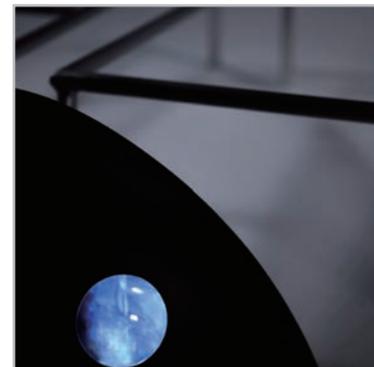


鹿島 謙太
Kashima Kenta

伊藤 玲央
Ito Reo

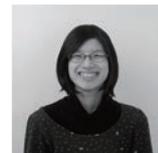
Nave





単身者の生活に合わせた除湿機と物干しの開発

近年、衣類を黄砂や花粉等から守るために室内干しを行う世帯が増えている。しかし、1Rマンションなど空間が限られている場合は室内干しが難しい。そこで、物干し竿と除湿機を壁付けにすることにより、空間を有効に活用できるプロダクトを提案した。衣類を掛けることにより、世界に1つだけの船が完成する。



佐野 美彩子
Sano Misako

LEGGERO





走る楽しさを追求した超小型モビリティの提案

超小型モビリティは、ランニングコストが安く経済的である。規格上最高速度が 60km と定められているが、スピードを出さなくても非日常的な楽しさを味わえるように、「体感スピード」、「軽量感のあるボディ」、「刺激のある外観」を重視してデザインした。



竹入 稜恭
Takeiri Ryosuke

馬淵 拓麻
Mabuchi Takuma

PORTER





協力：高橋製瓦株式会社

シニア向け電動ショッピングカートの研究

超高齢社会の日本において高齢者のショッピングが注目されている。しかし、長時間の外出や移動は体力的な負担となる。PORTER は買い物中の体力的な負担を軽減させ、使用している姿が自然な佇まいであることを目指した。買い物をしながら楽しく快適に乗っていただきたい



西尾 修朔
Nishio Shusaku



木と魅せる、染め





木材染色の可能性

染色でしか表現できない新しい木材の見せ方を研究した。染料が木材の繊維に沿って吸い上げられていくため、木材の部位や木目の方向によって色の濃さが異なる。その性質に着目し、木目が縦横交互に重ね合わせて作られた合板を用いて断面の色の層と表面のグラデーションを活かした木製什器の制作を行った。

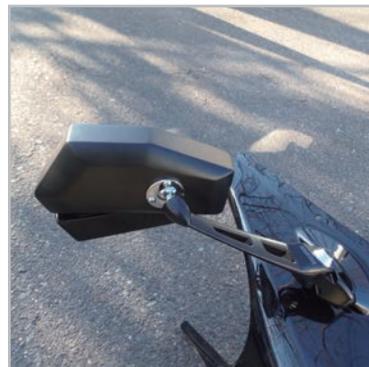


加藤 光太郎
Kato Kotaro





従来のサイドミラー



制作したサイドミラー



死角を減らすサイドミラーの提案

現状では死角の多いサイドミラーを上下2分割にすることで、死角を極限まで減らすことが可能となった。上のミラーは、従来のミラーの役割を果たし、下のミラーは、従来のミラーの死角をカバーする役割がある。バイクに乗る人が安心・安全に運転することができる新しいサイドミラーを研究した。



生根 一真
Syone Kazuma





協力：株式会社晋山窯ヤマト 美濃文山窯 成和フェルト株式会社

新素材を活かしたアロマディフューザー

布に泥漿を染み込ませ焼成した従来の陶磁器とは違う新素材。型や機械を使わずコストが低く制作が容易で、空気層がある為に軽く、吸水性を持つ。吊るす事でインテリアとしても使え、窓際等に掛ける事で香りを全体に広げる事が出来る。この器自体にアロマオイルが染み込む為、より香りを長く楽しむ事が出来る。



成島 亮希
Narishima Takaki





オリジナルボトルケージの研究

スポーツサイクルで使用するボトルケージの研究を行った。従来のボトルケージの欠点である、出し入れのしにくさを解決するために、フレームとボトルケージの間に回転する機構を設けた。ボトルケージのデザインも含めて、スムーズなボトルの扱いが可能となり、使用中のストレスが軽減された。



真木 一誠
Maki Issei



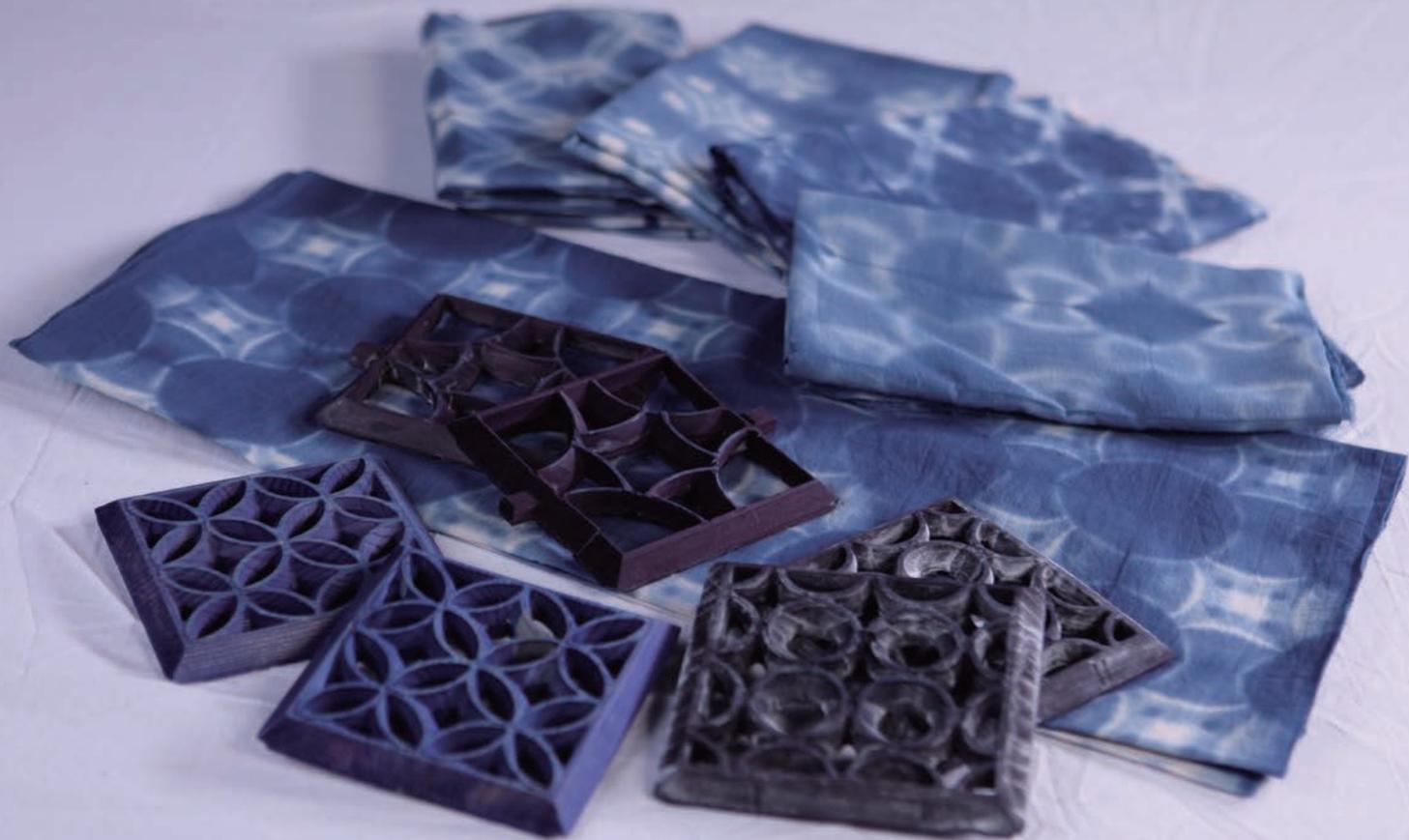


睡眠前の読書に適した照明

様々な睡眠前の体勢や環境でも、本のページを照らすことが出来るブックライト。本の中心に挟んで使用するため、両ページを均等に照らすことが可能。また、使用後も本に挟んだままにしておけるため、その場から動かず消灯が出来る。それにより読書後の動作が減り、寝るまでのスムーズな流れを作る。



松永 啓
Matsunaga Kei





協力：有限会社 絞染色 久野染工場

有松絞りと先端技術

3D造形技術を用いた、新たな板締め絞りの道具を作成した。手先の感覚や経験から成り立つ職人技のみでなく、機械ならではの精密な加工により、板締め絞りでありながら、多彩な表現をすることが可能となった。板締め絞りで重要な、布を挟む時の圧力を測定し、職人の感覚を数値化することで、確実な染色が可能となった。



山中 嘉太朗
Yamanaka Yoshitaro





シリコン製携帯灰皿

従来の紙たばこでは用いることの出来なかったシリコンで作った携帯灰皿。外観・使い方はシンプルでシリコンの良さを最大限に活かしたデザイン。iQOS ならではの気軽さに重きを置いた携帯灰皿として新たな電子タバコのユーザーにも気軽に使え、歩きたばこによって出る吸い殻を確実に受け止めてくれる。



森島 大貴
Morishima Hiroki

奥付

私たちは、大同大学情報学部情報デザイン学科プロダクトデザイン専攻の
6期生として4年間の集大成をここにまとめました。
最後までご覧いただき、誠にありがとうございました。

作品集制作・監修

加藤和也

加藤光太郎

佐藤雅也

西尾修朔

平手貴有記

前田脩汰

松永啓

馬淵拓麻

印刷・製本

PRESS-TALK



大同大学

DAIDO UNIVERSITY

〒457-8530 名古屋市南区滝春町 10 番地 3
<http://www.daido-it.ac.jp/>